

JASMA 会報

2023年8月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

1.第54回定時総会開催	1
2.定時総会後懇親会開催	3
3.ソーイング体験コーナーで家庭用ミシン利用普及をPR	5
4.JIAM 2024 OSAKA出展者募集 開始について	5
5.第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集中	6
6.お知らせ	6

1. 第54回定時総会開催

〔2023年6月2日（金）、14:30～ 日本工業倶楽部〕

当工業会の第54回定時総会を日本工業倶楽部、4階第4会議室にて開催し、下記の議案が審議・報告されました。

当日は、ご来賓として経済産業省 製造産業局 産業機械課 國府田 勝行課長補佐、吉崎 航介係員にご臨席いただき議事最後に直近の政策課題についてご説明をいただきました。定時総会に先立ち、12時から正副会長会議を開催し、定時総会の議案等について審議・報告されました。



内梨 会長

<第54回定時総会>

議題1.	2022年度事業報告書について【審議】	議題2.	2022年度決算報告について【審議】
議題3.	2023年度事業計画(案)について【審議】	議題4.	2023年度収支予算(案)について【審議】
議題5.	役員選任について【審議】	議題6.	JIAM展について【報告】
議題7.	共通基盤ネットワーク研究会について【報告】	議題8.	若手社員向け研修会について【報告】
議題9.	今後のスケジュールについて【報告】		

<理事>

(敬称略)

	氏名	会社名		氏名	会社名
1	内梨 晋介	JUKI株式会社	10	佐藤 仁	株式会社佐文工業所
2	長谷川 泰之	ブラザー工業株式会社(新任)	11	鈴木 敬造	株式会社鈴木精密工業所
3	齋藤 真	株式会社ジャノメ	12	渡邊 豊	株式会社TOWA JAPAN
4	美馬 成望	株式会社PEGASUS	13	直本 行雄	直本工業株式会社
5	近藤 章吾	ヤマトミシン製造株式会社	14	大塚 雅之	株式会社ハシマ
6	兒島 成俊	株式会社TISM	15	原田 啓太郎	株式会社ハッピージャパン
7	廣瀬 恭子	株式会社広瀬製作所	<監事>		
8	湯原 孝志	一般社団法人日本縫製機械工業会	1	錦織 隆	株式会社日進製作所(新任)
9	増島 良介	オルガン針株式会社	2	山根 一久	東日本金網工業協会

今後の主要な行事等は以下のとおりです。

会議・行事等	日時・場所	議題 他
正副会長会議	①2023年10月11日(水) ②12:30～14:00 ③ホテルグランヴィア大阪	①第174回理事会の審議・報告事項
第174回理事会	①2023年10月11日(水) ②14:10～16:00 ③ホテルグランヴィア大阪	①2023年度上期の事業概要について ②2023年下期の事業について ③JIAM展について 他
正副会長会議	①2024年1月10日(水) ②10:00～11:00 ③日本工業倶楽部	①2023年度予算執行状況について ②2024年度予算について ③第44回ホームソーイング小・中・高校生作品 コンクール事業について 他
2024年賀詞交歓会	①2024年1月10日(水) ②13:00～15:00 ③日本工業倶楽部	①新年賀詞交歓会 他

※変更する場合があります。



<第173回理事会>

<会長・副会長・専務理事>

(敬称略)

役職名	氏名	会社名
会長	内 梨 晋 介	J U K I 株式会社
副 会 長	長 谷 川 泰 之	ブラザー工業株式会社(新任)
〃	齋 藤 真	株式会社ジャノメ
〃	美 馬 成 望	株式会社 P E G A S U S
〃	近 藤 章 吾	ヤマトマシン製造株式会社
〃	兒 島 成 俊	株式会社 T I S M
〃	廣 瀬 恭 子	株式会社広瀬製作所
業務執行理事・専務理事	湯 原 孝 志	一般社団法人日本縫製機械工業会

議題1. 会長、副会長等の選定について
会長、副会長等の選定について左表のとおり議決されました。

<顧問>

(敬称略)

役職名	氏名	会社名
名 誉 顧 問	山 岡 建 夫	-
名 誉 顧 問	安 井 義 博	ブラザー工業株式会社
顧 問	眞 壁 八 郎	-
顧 問	清 原 晃	J U K I 株式会社



2. 定時総会後懇親会開催

第54回定時総会後に懇談会を開催し、総勢63名の出席があり盛況に執り行われました。

〔内梨会長 挨拶〕

1. はじめに

皆様、こんばんは。一般社団法人日本縫製機械工業会 会長の内梨でございます。

本日は、大変お忙しい中、日頃よりご指導ご支援をいただいております経済産業省様はじめ、業界団体の皆様、会員の皆様に多数ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さきほど、2023年度の定時総会及び理事会において、全ての審議事項が承認されました。引き続き、会長に選定されましたので、宜しく願いいたします。今回の改選では、久野副会長が退任され、ブラザー工業株式会社 常務執行役員 マシナリー事業 工業ミシン事業担当 長谷川泰之様はせがわ やすゆきが副会長に選定されました。久野様には、4年間に亘りありがとうございました。そして、長谷川副会長におかれましては、新たな視点で工業会、業界の発展にご尽力、ご協力賜りますようお願いいたします。また、木下監事が退任され、株式会社日進製作所 代表取締役会長 錦織隆様にしこりたかしが監事に選任されました。木下様には、6年間に亘り監事としてご尽力いただき誠にありがとうございました。そして、錦織監事には理事から監事となり立場を変えてご協力をお願いいたします。今後も副会長、理事、監事の皆さまには工業会を支えていただくこととなります。引き続き、皆さまからのご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

2. 経済状況

(1) 全般について

さて、景気概況ですが、世界的な資源高や物価高、金融市場の不安定さなどの懸念材料はあるものの、日本でも本年5月から新型コロナウイルスが5類扱いとなり、経済活動が活発となり、外出機会の増加は国内アパレル販売の増加につながり、我々縫製機械業界にとっては明るい話題と思います。

直近の政府景気判断が「緩やかに回復している」ということで、10カ月ぶりに上方修正されました。この判断は2020年2月以来、3年3か月ぶりとのことです。ちょうど、国内で新型コロナウイルスによる行動自粛が始まった時の経済水準に近づいたこととなります。さらに活発に経済活動が続くことを期待しております。

世界の景気は、米国の金融不安や欧州・中国経済の

停滞状況にあり、米国・中国の覇権争いから始まった世界経済分断の動きも相まって、サプライチェーンの継続的な確保に加え、世界市場の景気動向に注視する必要があります。

今後は、脱炭素社会への対応が課題になると思います。

(2) 今後について

こうした状況の中、2023年度後半に向け、景気低迷との予測もあり気になるところです。工業会としては、今後とも、生成AIに代表されるような急激な技術革新も念頭に、デジタル・ネットワーク社会に向けて引き続き積極的に情報収集するとともに、業界の発展に貢献していく所存です。

3. 当工業会の取り組み

ここで、当工業会に関する具体的な取り組みを、お伝えしたいと思います。

(1) 1点目は、「共通基盤ネットワーク研究会」についてです。

今年度は、一般財団法人 機械システム振興協会様からの機械システム調査開発事業として、「縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定」を中心に実施いたします。具体的には、CADデータをデジタルミシンに取り込むための「共通フォーマット」を策定し、「イセ込み縫製」を対象として自動化に向けた取り組みを行い、縫製機械、特にミシンのめざすべき方向性の議論をいたします。この取り組みの進捗状況は、「共通基盤ネットワーク研究会」を通して、広く皆様にご報告いたします。関係会員、業界関係の皆様からのご支援、ご協力をお願いいたします。

(2) 2点目は、次回JIAM展についてです。

JIAM 2024 OSAKAは2024年11月27日(水)～30日(土)、インテックス大阪で開催いたします。**JIAM 2022 OSAKA**を昨年11月に6年半ぶりに開催し、出展者、来場者からリアルでの見本市の素晴らしさを体感したとのお声をいただきました。この成功を受けて、美馬前実行委員長から近藤実行委員長へと引き継がれ、新たな体制で検討を開始しております。美馬副会長にはこれまでにないコロナ禍という制約の中、**JIAM展**の成功にご尽力いただき感謝申し上げます。ありがとう

ございました。

JIAM 2024 OSAKAに向けては、既に近藤実行委員長を中心に、内容の精査をしているところです。

日本語名称については、今後ハードのみならずソフト、サービスも含めた製品が対象となると考えられることから、「国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市」に改称することとしました。また、テーマ名は**JIAM 2022 OSAKA**の方向性であった「コネクテッド」を発展させる意味で「**JIAM**からつながる...次世代技術と匠の技のコラボレーション2024」として、アパレル製品のみならず縫製される多くの製品を対象に実施することとなりました。本年7月からの出展募集に向け準備しておりますので、ご期待ください。

(3)3点目は、家庭用ミシン事業についてです。

本年度も、昨年度と同様に「第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の募集を開始しております。今年度も全応募作品を対象に「SDGs特別賞」を設けました。関係各位におかれましては作品募集にご支援・ご協力をお願いいたします。

また、家庭用ミシンの普及には、子供達へのミシン体

験が重要との認識の下、本年8月に、先生方向けのミシン研修の場や霞ヶ関子供デーにおいて、ミシンを使ったもの作りの体験学習を予定しております。このようなソーイングに関するイベント情報などを発信する「ソーイング大好き」の会員募集もしておりますので、ご協力ください。(4)4点目は、若手社員向け「イノベーション人材育成研修」についてです。

昨年度から会員向けに実施している研修で、今年度は、最新のロボット事例を勉強していただき、課題をグループで討議・発表していただくことを予定しております。(募集は終了しました。)

主な工業会事業について、ご紹介いたしました。事業を進める上で、最も大事なことは会員相互のコミュニケーションであります。コロナ禍も終息に向かいつつあります。改めて、政府、関係団体との連携を密に図り、工業会が一つになって事業を進めていくことが重要と思っております。

最後になりますが、本日ご出席の経済産業省はじめご来賓の皆さま、会員各社の皆さまの一層のご発展、ご健勝を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

〔経済産業省 國府田勝行課長補佐 ご挨拶〕

ご紹介にあずかりました経済産業省 製造産業局 産業機械課 國府田と申します。

まずは会員企業、多くの皆様が定時総会、並びに懇親会にご参加されまして、このような盛大な会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。お話ありました通り、昨年もなかなか開催できずに、工業会活動もオンラインが中心であったと伺っております。このような会

が本当にマスクも無く、お話しできる、顔が見られるというのを、まずはお慶び申し上げます。

コロナも2類から5類へと引き下げられ、少しずつではございますが、街でマスクを外している姿も散見されます。コロナ前の生活によく戻ってきたのかと感じているところがございます。足元の日本経済でございますけれども、投資意欲も高まり、春闘による力強い賃上げ等、前向きな変化の兆しが表れていると思っております。これは日本が新しい経済構造へ向かうチャンスだと、お話



経済産業省 國府田勝行 課長補佐



をさせていただきました。経済産業省としましては、今後は「DX、GX、経済安全保障」この三つの柱を軸としまして、産業界の皆様と緊密に連携をして、我が国の経済の成長のために尽力してまいり所存でございます。ぜひ皆さまのチャレンジな取り組みに対しまして引き続き応援させていただければと思っております。

日本縫製機械工業会におかれましては、来年大阪でJIAM展が開催されることが既に決まっております、これまでに3回の準備会合の後、委員会を立ち上げております。これもまさにコロナでなかなかできなかったところで

ございますので、来年開催ではございますが最新鋭の技術、設備、サービスを提供していただき、日本が誇る縫製機械業界の力を世界にアピールしていただきたいと思っております。盛大に開催されることを祈念しております。

最後になりますが日本縫製機械工業会、および会員企業の皆様のますますのご発展、本日ご列席の皆様のご健勝を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

3.ソーイング体験コーナーで家庭用ミシン利用普及をPR

ー2023日本ホビショーへの出展ー

家庭用ミシンに親しむ場を提供することにより、ホームソーイングの普及促進を図る目的で、2023日本ホビショーにJASMAブースを出展しました。4月27日(木)～4月29日(土・祝)の3日間、東京ビッグサイトで開催され、多くの来場者が訪れ大盛況の中行われました。

JASMAブースでは、第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの経済産業大臣賞受賞作品(5点)を展

示するとともに、表彰式の様子をビデオで放映しました。更に、ソーイング体験コーナーでは、家庭用ミシン4社による「キャラメルポーチ」の制作体験を行い、3日間で110名の参加がありました。女性を中心とした多くのホビー愛好家が訪れ、JASMAブースでは幅広い年代の方々にミシンを体験していただきました。

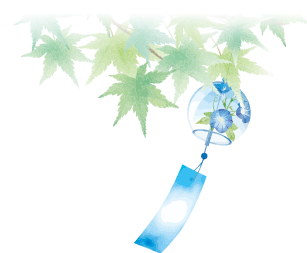


4. JIAM 2024 OSAKA出展者募集 開始について

国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市JIAM 2024 OSAKAは、2024年の開催に向けて、2023年7月より出展者の募集を開始します。

現在、大きな課題となっている人件費の高騰、労働力の不足やSDGsへの対応に向けて、オペレーターの技術、経験によらない縫製を可能にするデジタル化された製品をはじめとした世界初のイノベーションを日本から世界へ発信

すると共に、ビジネス拡大のヒント、課題解決へのソリューションを提案します。



5.第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集中

全国の小・中・高校生を対象とした「第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品を募集しています。
詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

1.応募部門:

- (1)小学生の部(4・5・6年生)
部門は特に設けていません。中学生、高校生の全ての作品部門を含みます。
- (2)中学生の部
- ① 小物・インテリア作品部門 ② 衣服作品部門
 - ③ リメイク・デコ作品部門
 - ④ アニメ・ゲームコスチューム作品部門
- (3)高校生の部
- ① 小物・インテリア作品部門 ② 衣服作品部門
 - ③ リメイク・デコ作品部門
 - ④ アニメ・ゲームコスチューム作品部門

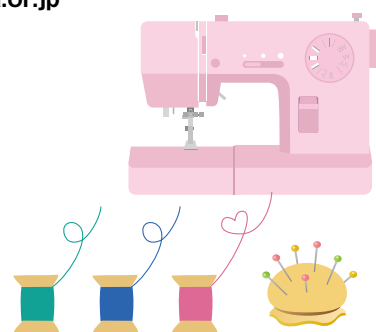
2.応募作品、応募方法他については、当工業会ホームページ(<https://jasma.or.jp>)をご覧ください。なお、高校生の応募は、写真による選考を行ないますのでご注意ください。

3.締 切:2023年10月31日(火)

4.応募先・お問い合わせ先:一般社団法人日本縫製機械工業会「第44回作品コンクール」係
TEL.03-6435-8190 FAX.03-6435-8192

Eメール: info@jasma.or.jp

URL: <https://jasma.or.jp>



6.お知らせ

● 経済産業省 製造産業局 産業機械課の異動

当工業会担当の課長補佐、係長が異動となりました。(敬称略)

(新)

(旧)

5月1日付

國府田 勝行 製造産業局 産業機械課 課長補佐
横山 博之 貿易経済協力局 投資促進課
課長補佐(国際租税担当)
石澤 みなみ 大臣官房会計課

製造産業局 産業機械課 室長補佐(人事・文書担当)
製造産業局 産業機械課 課長補佐
製造産業局 産業機械課 係長

6月1日付

吉崎 航介 製造産業局 産業機械課

大臣官房総務課

編集後記

7月に入り本格的な夏を感じる暑さとなりました。
今年の夏も日本全国、平年よりも気温が高くなり猛暑、酷暑が予想されています。

新型コロナウイルスの影響で中止となっていた夏祭りや花火大会、音楽フェスなどが4年ぶりの開催!といううれしいニュースを耳にする一方、沖縄県など九州地方で感染が拡大していることを受け、第9波に入ったと判断されました。

日常的にはコロナ前に戻ったような気にもなりますが、まだまだ予断を許さない状況であることを改めて認識します。
マスクを外す場面も多くなりましたが、感染予防と暑さ対策を上手に両立し、この暑い夏を乗り切りましょう!

みなさま、くれぐれもご自愛くださいませ。(N.Y)

JASMA 会報

Vol.20 No.2 2023年8月4日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者:湯原 孝志

〒105-0004
東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

Eメール info@jasma.or.jp

URL <https://jasma.or.jp>

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。